

会社概要 (平成29年9月30日現在)

会社の概要
 社名 株式会社 ヤギ
 英文社名 YAGI & CO.,LTD.
 創業 明治26年10月16日
 設立 大正7年4月28日
 資本金 1,088,000,000円
 主な事業内容 綿化繊糸、合繊糸、綿化繊織物、合繊織物、ニット生地および衣料品等の各種繊維二次製品の国内販売ならびに輸出入
 主要な事業所 (国内)本店 大阪市中央区久太郎町二丁目2番8号
 支店 東京(東京都中央区) 福井(福井市)
 出張所 名古屋(名古屋市中区) 和歌山(和歌山市)
 (海外)駐在員事務所 上海(中国) ホーチミン(ベトナム) ハノイ(ベトナム) バンコク(タイ) ダッカ(バングラデシュ)

役員一覧 (平成29年9月30日現在)

代表取締役会長	八木秀夫
代表取締役社長	八木隆夫
取締役 役 長	戸隆之
取締役 役	山岡一朗
取締役 役	馬渡武継
取締役 相 談 役	朝野幸博
取締役(常勤監査等委員)	大原弘幸
取締役(監査等委員)	池田佳史
取締役(監査等委員)	塩田修
取締役(監査等委員)	熊谷弘

(注) 取締役池田佳史、塩田修および熊谷弘は、社外取締役であります。

(注) 本中間報告書中の記載金額および株式数は表示単位未満の端数を切り捨てております。

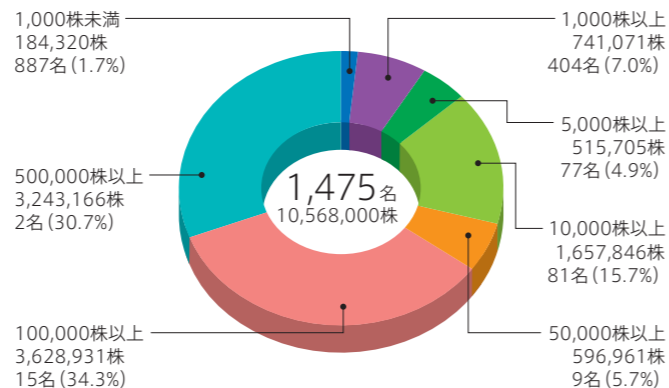
株式の情報 (平成29年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 45,568,000株
- 発行済株式の総数 10,568,000株
- 株主数 1,475名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
ヤギ共栄会	922(千株)	11.2(%)
株式会社みずほ銀行	414	5.0
ピービーエイチ フィデリティビューリタン フィデリティ シリーズ インタリニク オポチュニティズ ファンド	400	4.9
ゴールドマンサックスインターナショナル	390	4.7
株式会社三井住友銀行	380	4.6
株式会社三菱東京UFJ銀行	305	3.7
ヤギ従業員持株会	299	3.6
バンクオブニューヨークシーエムクライアントアカウント ジェイビーアールディアイエスジーエフイーエーシー	255	3.1
第一生命保険株式会社	250	3.0
クロスプラス株式会社	229	2.8

(注) 持株比率は自己株式(2,320,866株)を控除して計算しております。

● 所有株数別分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日までの1年
 定時株主総会の基準日 3月31日
 剰余金の配当の基準日 期末配当 3月31日 中間配当を行うときは9月30日
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

公告の方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。なお、電子公告によることのできない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

ホームページ <https://www.yaginet.co.jp/ir/announce.html>

【住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について】

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

【未払配当金の支払いについて】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

YAGI REPORT

第106期 中間報告書

平成29年4月1日 ▶ 平成29年9月30日



株式会社ヤギは平成30年10月に創業125年を迎えます

証券コード：7460



▶ 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。私たちヤギグループはこのたび、厳しい経営環境下でも収益力を維持し、持続的な成長を実現するための経営指針として、2020年3月期を最終年度とする3カ年の当社グループ中期経営計画「SPARKS 2020」(スパークス2020)を策定し、繊維・ファッション関連事業を展開しております。

持続的な成長には、圧倒的な市場シェア(占有率)を持つ商権の獲得による差別化事業の確立が急務となるなかで、「総合力発揮の強化」「新領域への挑戦」「構造改革の実行」の3点を重点方針とし、「新しい商社像」を示せるリーディングカンパニーとなるべく挑戦し続ける意思を明確化しました。グループ間の相乗(シナジー)効果を最大化することにより、株主や投資家の皆様をはじめとする全てのステークホルダーに価値を創出できる企業体でありたいと考えています。

さて、第106期(平成30年3月期)第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、衣料品販売の低迷が続くなかで、差別化商材の開発など収益力強化に注力した結果、前年同期比で減収ながら増益を確保することができました。



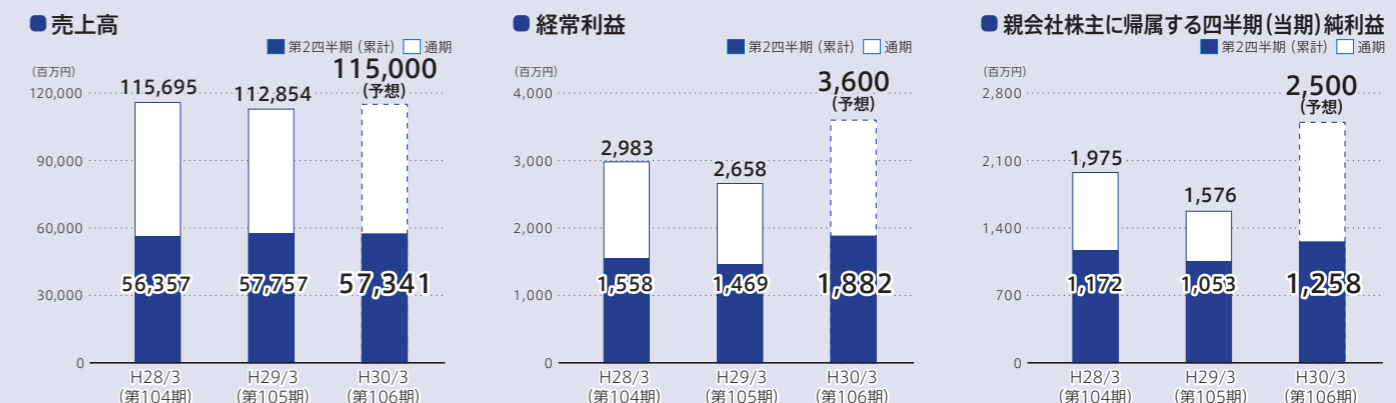
代表取締役社長 八木隆夫

今後におきましても、当社が1893年(明治26年)の創業以来築き上げてきた、信用と実績をさらに高めていくために、経営の効率性向上を目指し、いかなる環境下でも適正な利潤を上げられるビジネスモデルを構築してまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成29年11月

▶ 第2四半期財務ハイライト(連結)



株式会社 ヤギ

〒540-8660 大阪市中央区久太郎町二丁目2番8号 <https://www.yaginet.co.jp>

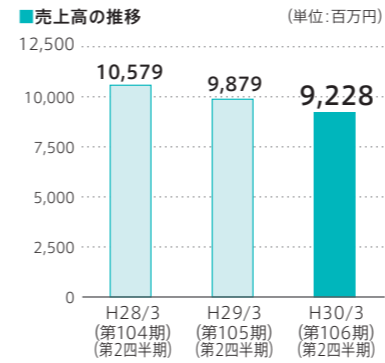
原料分野



16.1%

原料分野は、天然繊維原料につきましては、衣料品需要の低迷で国内産地でのテキスタイルの減産傾向に歯止めがかからず、厳しい市場環境が続きました。合成繊維原料は、独自の素材開発に注力した加工糸販売が堅調に推移したほか、作業用手袋や車両内装材向け原料など高付加価値商材の需要も増加しました。このような状況の下、テキスタイル部門との連携による相乗効果の創出を推

進し、優良取引先との取り組み深耕や、生産集約による加工効率向上により、経費を圧縮し収益基盤の強化に努めました。この結果、原料分野の売上高は9,228百万円(前年同期比6.6%減)となりました。



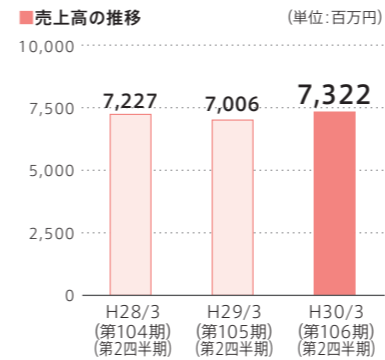
テキスタイル分野



12.8%

テキスタイル分野は、国内衣料品需要の低迷を受けて主力のニット生地や綿織物の販売で苦戦が続く一方で、特殊な機械や素材を使い付加価値の高い加工を施した商材の需要は底堅く推移するなど、差別化商材が収益を牽引しました。このような状況の下、販売戦略の要である「テキスタイル・プロジェクト」において、素材企画力を活かした売れ筋商材開発やグループ会社との合同展示会開催

による販売強化に努めました。また営業組織の変更に伴う原料部門との協業強化を意識しながら、戦略商材の開発に注力いたしました。この結果、テキスタイル分野の売上高は7,322百万円(前年同期比4.5%増)となりました。



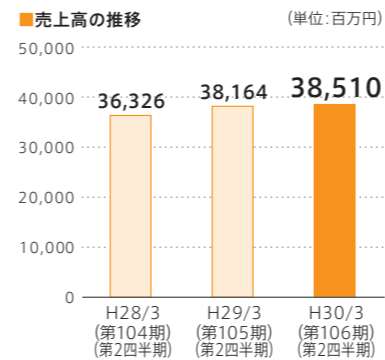
繊維二次製品分野



67.1%

繊維二次製品分野は、百貨店や大手量販店での衣料品販売に復調の兆しが見られず、専門店や専門量販向けの一部商材を除いて、厳しい状況が続きました。夏季の天候不順もマイナス材料となり、レディス・メンズの夏物商戦も低調でした。一方で、ブランド力のある商材の需要は底堅く推移するなど、明暗が分かれる結果となりました。このような状況の下、当社グループは、

企画段階から請け負い製造・供給するODM生産を推進する一方、原料・テキスタイル部門との協業やブランドビジネスの発想を取り入れた新規オリジナル商材の開発を加速し、市場での競争力強化に努めました。この結果、繊維二次製品分野の売上高は38,510百万円(前年同期比0.9%増)となりました。



(※売上高構成比はこの他に、繊維事業その他3.6%、不動産事業0.4%があります。)

情報発信型ファッションラボ

『BUTSU/YOKU』オープン
～モノとヒトのキュレーション拠点～

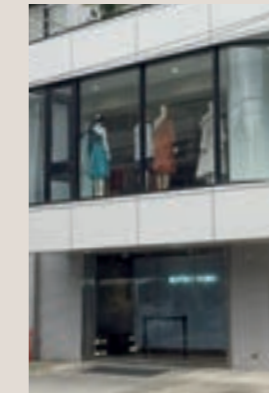
当社と、ブランドプロデュースを手掛けるパースデイ株式会社(東京都墨田区、代表取締役社長:外山聡)は新会社「BOLDMAN株式会社」を設立し、東京都渋谷区に情報発信を目的とした施設『BUTSU/YOKU』(ブツ・ヨク)をオープンいたしました。

のアプローチで、さまざまなインスピレーションを与える情報発信施設として誕生します。なお、「/YOKU」では、ファッション界の活性化を目的に、BOLDMANが共感するブランドや個人に無償でスペースを提供し、世の中への発表を積極的に応援してまいります。

専門スキルと総合的な知見により、消費者ニーズを的確に把握し、ブランディングから商品企画、店舗設計、販売促進・PRまで、さまざまな課題に対して創造的かつ統合的に問題解決を行うソリューション型ラボとして、ファッションに関連するさまざまな価値を提供いたします。



2Fは素材や製品などを展示するショールーム「BUTSU/」、1Fはクリエイターやブランドなどをフィーチャーするギャラリースペース「/YOKU」の2層構造。モノとヒトの両面から



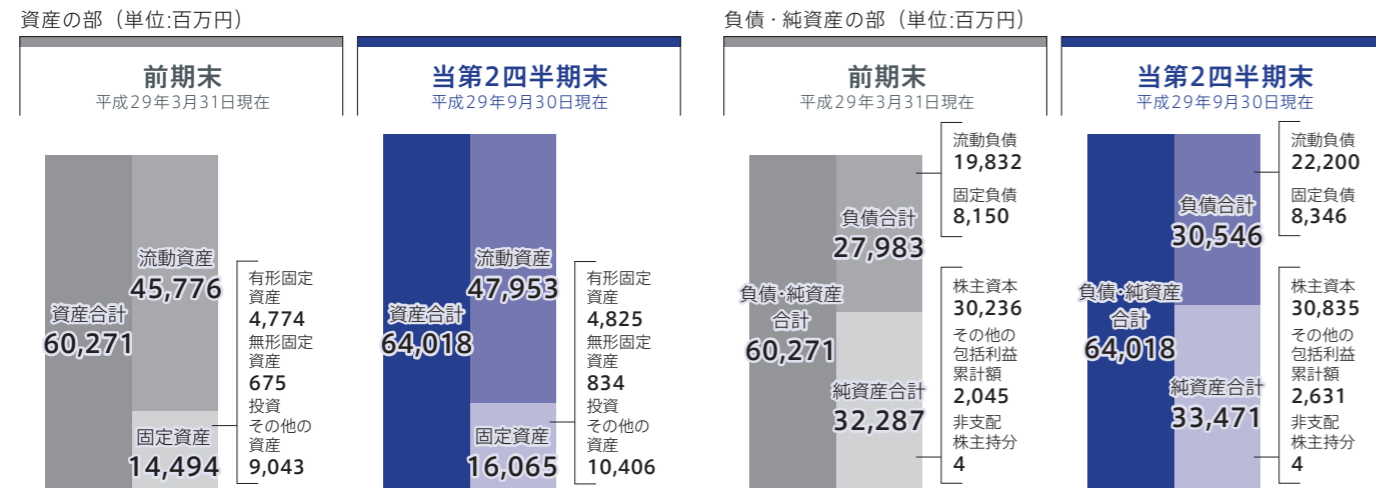
▶ 連結財務データ

詳しくは当社ホームページをご覧ください

ヤギIR

検索

● 四半期連結貸借対照表



● 四半期連結損益計算書

